

豎亥錄假名抄

上

豎亥錄序

夫數者六藝之一術也隸首
著九章黃帝定三數自爾以
來作筭經者邈代斯夥矣
本朝達于此術者雖間有之
蓋作爲此書者鮮矣爰有今
村氏知商者學筭法於洛陽
人毛利氏重能術業有專攻

七子言者世にさして守自因一して平に歩是よ定
 め之廓のこころけして一丈二尺の八寸と等張の
 二尺とともをせして一丈二尺八寸とぬとけして二百令
 百十二坪引てぬ八子二言八十八坪是不足るわさて
 方四尺八寸是よ等張の二尺二寸とてたうさ七尺八寸
 とぬと同一なるなり

右のやうに立字のこのこわきさなりをのは式おと
 りく算法は解よなる守なり

堅文録上假名抄終

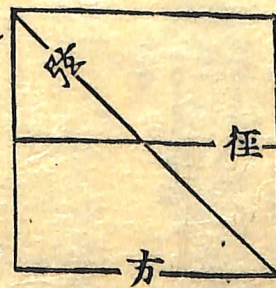
豎亥錄
名抄
下

監玄錄下假名抄

六 方平式

方平式は平いふれも是と面幕のはとふ

平方之圖



今有平方之徑四方知歩式者

相因四歸

以徑之尺數與四方之尺數相因乘而得歩數四歸之則得歩數是寸歩也

たとへば平方の口四方なるものあり口四方の寸ありせば
こゝろ寸徑の寸にけしこの歩數いふ知る徑の

之直與予素懷膈合矣誠商賜起予者也
也予弟子勝師者也予幸甚

萬治庚子十一月丙寅今村氏知商跋

寬文二年壬寅二月上弦日平田長左衛門開板